

平成 27 年 8 月 6 日

# 南の風 141

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

第36回マリノールカップが無事終了致しました。関係者の皆様ありがとうございました。

優勝チームを紹介します。

《7月26日（日）男子日》

Aゾーン優勝 川上北ブルーデビルス（横浜西部）

Bゾーン優勝 八千代ミニバスケットボールスポーツ少年団（茨城）

Cゾーン優勝 菊名ミニバスケットボールクラブ（横浜北部）

《8月2日（日）女子日》

Aゾーン優勝 柿生フィリーズ（川崎）

Bゾーン優勝 六浦南ペガサス（横浜南部）

Cゾーン優勝 横浜南部選抜チーム

男子日の7月26日（日）は、私が不在だったためゲームを観戦することができず残念でした。Aゾーンの川上北（横浜西部）、Cゾーンの菊名（横浜北部）は共に、予選も決勝戦も危なげなく勝ったとの報告を受けました。Bゾーンは決勝で八千代（茨城）と横浜山手中華（横浜中部）が接戦となり、最後は46対39で八千代に軍配が上がりました。

女子日は、決勝戦がどのゾーンも接戦でした。Aゾーンは柿生（川崎）と戸塚（横浜西部）の激突でした。両チームとも洗練されたマンツーマンディフェンスを展開し、見応えのあるゲームとなりました。1Pは戸塚が主導権を握りリードしました。しかし徐々に柿生のジャンプショットやゴール下が決まり出し、逆転します。後半に入り、柿生は4番のジャンプショットが要所で決まり41対33で逃げ切りました。Bゾーンの決勝は大接戦となりました。六浦南（横浜南部）が4Pにリードしますが、サンライズ（千葉）が粘り同点に追いつき延長戦となります。2点先取のサドンデスです。延長開始早々、六浦南の5番のジャンプショットが右エルボーから決まり、劇的なサヨナラ勝ちとなりました。Cゾーンの決勝も接戦となり、抜きつ抜かれつの好ゲームとなりましたが、4Pの後半に横浜南部選抜がペースを掴み、中山ジュニア（横浜北部）を34対26で振り切りました。

優勝しました、男女6チームの選手の皆さん、スタッフ、保護者会の皆様おめでとうございます。残念ながら決勝で敗れたチーム、予選で敗退してしまったチームの皆さん、素晴らしいゲームを見せていただきありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

さて、女子チームのゲームを観ての感想です。

まず、ディフェンス（マンツーマン）がしっかりできるチームが多かった印象です。特に柿生と戸塚はよく鍛えられていました。フットワーク、ハンドワーク、ディスタンス、ダブルチームのタイミングが見事でした。今後は楽しみです。

では、攻める側からすればどうすればいいでしょうか。気になったのはドリブルの多さです。ボールを受けると、すぐドリブルというパターンが目につきました。続きは次号にします。